

DOJIN
R18
成人向け

18歳未満の
購入・閲覧禁止

対
策
係
の
ふ
たり
。



それは、夜見山から離れて皆で海へ行つた日の出来事。

「ねえ、タカコ今なら誰も見てないよ・・・？」

「そういってわたし達は身体を寄せ合いました。

「ハアッ・ン・・ダメだつて・・イズミ・・」

夏の日差しで火照ったわたし達の身体は、

汗まみれになっていました。

わたし達はこんな場所でと思いながらも
気づけばお互いの唇を求めていました。

「ちゅ・・・はあ・・・んつ・・・タカコオ・・・」



長いくちづけを終えたわたしは、
イズミの胸を舐め回しました。

「タカコ、ふあ・・見つかっちゃうよ・・」



ここまで着たわたし達は、もう止まりませんでした。

「ん・・ちゅっ・・ちゅぱっ・・んんっ――」

わたし達の行為は、より激しいものとなつていきました。



「ねえイズミ、ここ、もうこんな濡れてるよ・・・？」

「あ・・・ダメ・・タカコ・・そんなつダメ・・ああつ・・」

そうしてイズミをせめ続けるうちに、
わたし自身も、我慢できなくなつてしまつていきました・・・。



わたしはついに我慢の限界を迎えるました。

「イズミィ・・わたしにも・・ねえ・・して・・?」

一と、自ら胸をさらけ出して求めました。

「「んっ！はう・・・気持ちいよお・・・イズミィ・・」

「ちゅぷつ・・・ふは・・タカコって・・ここ弱いんだ・・」
そうしてしばらくイズミは、
私の乳首をせめ続けました。



「タカコ・・・ここも・・・」

イズミに下も脱がされてしまった私は、
イズミに恥部を音をたてて舐められました。

「ひあ・・つ！ イズミ・・ダメエ・・ふああー」
我慢出来ずにわたしは
つい大きな声を
あげてしまいました。



もう夢中になっていたわたし達は、
この時に気づいてすらいませんでした。



夢中で行為に及ぶ私達を見ていた、

サカキバラくんの存在に。

わたし達ふたりのこの行為が、この後あんな結末を迎えるなんて・・・

あとがき

どうも。サークル「部屋の隅。」でございます。

この度は、お手にとつて頂き誠に有難うございます。
描き始めた当初は、「夏に間に合うかなあ・・・」と不安でしたが
なんとか完成させることができました。

一応つづきモノのような終わり方をしておりますが、

続くかどうかはわかりません（苦笑）

また機会があつたらサカキバラ君を交えた3pモノもいいかもしれませんね。

この後のページは文章を除いたバージョンの挿絵のおまけになります。

それではまた、どこかで。

2012年 7月























製作:部屋の隅。



※未成年者の購読及び閲覧を禁じます。

※無断複製、無断アップロードを禁じます。

連絡先: <http://saltseaweed.web.fc2.com/>

